

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

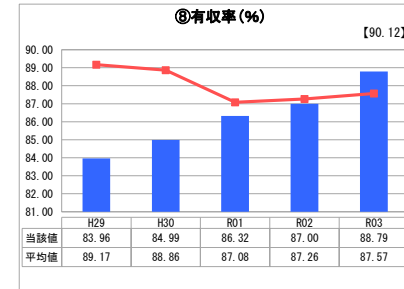
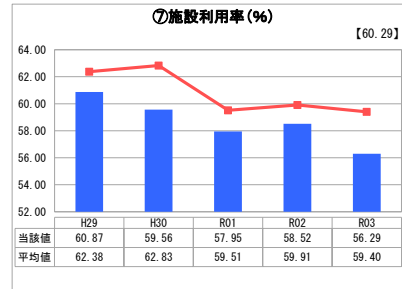
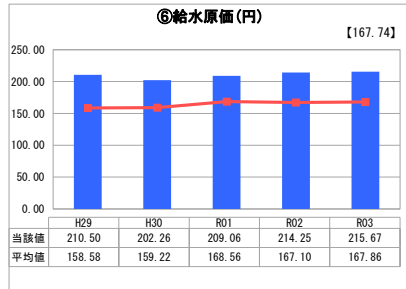
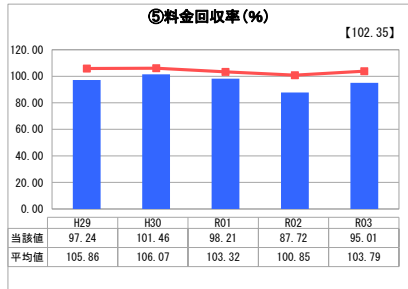
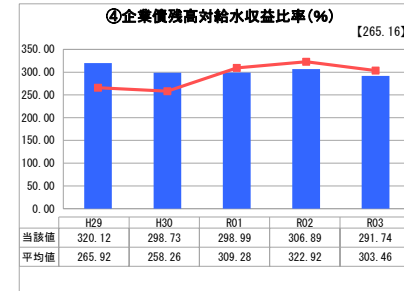
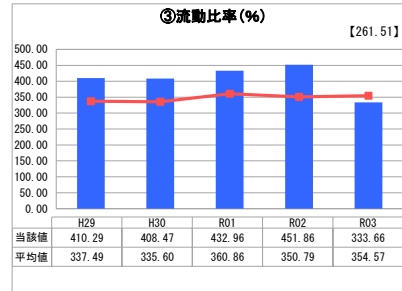
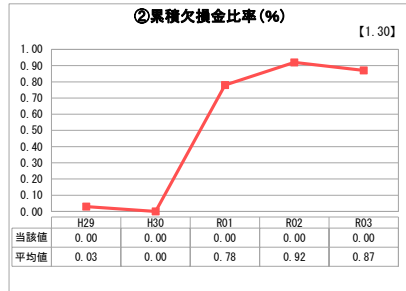
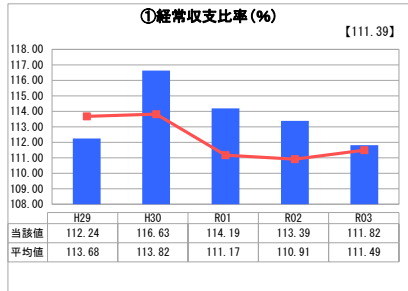
岡山県 津山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	76.81	99.40	2,530	

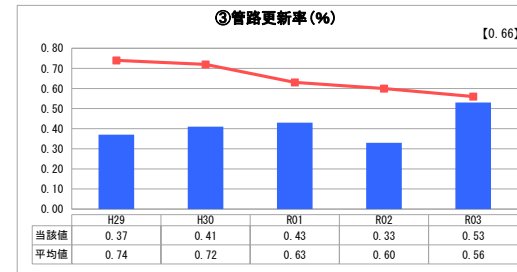
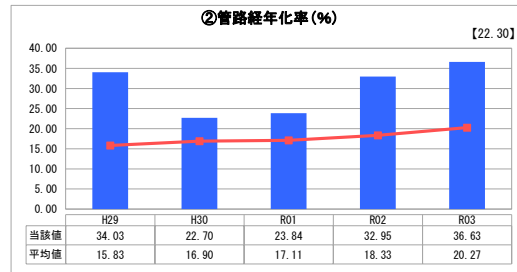
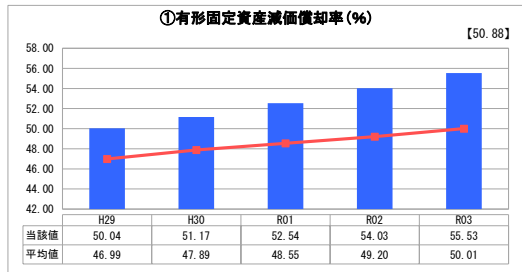
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
98,811	506.33	195.15
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
97,591	205.67	474.50

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、引き続き100%を上回っており健全性が保たれ、類似団体と同程度の水準を維持している。
- ②累積欠損比率は、引き続き0%であり、健全である。
- ③本年度は例年と比べて流動負債が多く、流動比率は類似団体を下回った。
- ④企業債務高対給水収益比率は、類似団体平均を下回っているが、経年比較では類似団体と同程度の値で推移している。
- ⑤料金回収率は、平成29年度の簡易水道事業統合以降、類似団体と比べ低い値となっており、100%を下回っている。
- ⑥給水原価は簡易水道事業統合以降、微増傾向で推移している。経費削減には努めていくが、地形、地勢的な問題もあり、類似団体に対して高い傾向が続くと見込んでいる。
- ⑦施設利用率は、類似団体と同程度であるが、給水人口の減少などに伴う水需要の減少により、低下傾向にある。
- ⑧有収率については、類似団体と比較し低い値が続いていたが、漏水対策などにより改善している。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、類似団体と同様に、上昇傾向にある。
- ②管路経年化率は、類似団体に比べ高い値で推移しており、対策が急がれる状況は変わっていない。
- ③管路更新は、平成30年に改定した「水道ビジョン」に基づき、計画的に更新を進めていくこととしている。

## 全体総括

現時点での健全性は保たれているが、今後、人口減少に伴う水需要の減少が見込まれ、経営状況は厳しさを増すものと考えている。  
一方で、有形固定資産減価償却率、管路経年化率ともに類似団体より高く、上昇傾向にある。「水道ビジョン」に基づき、管路等更新事業の着実な推進を進めていく必要がある。